

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	休日夜間急患診療所運営事業	会計	一般会計	事業No.	260	施策順No.	32-001
		事業種別	政策・重点	予算科目	4-1-1-16-1		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり			課等名	保健課		
施策	32 医療の充実			事業期間	開始	終了	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	郡市民						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		飯田市及び下伊那郡の住民(人口)		171966	170577	169303	173000	
	意図	休日・夜間・祝祭日において、急患(重篤でない程度)が発生したとき、必要な医療を受けることができる また、電話医療相談を併せて実施しており、安心感と適切な指示を与える						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	休日夜間利用者数(患者数)	5615	6554	7545	5098	6449	5098	C
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		休日・祝祭日・夜間の急患(一次医療として)の受け入れを行い、その目的を達成している。前年度の新型コロナウイルスによる爆発的な患者数増に対し、今年度は例年並みの患者数になっている。						

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<ul style="list-style-type: none"> 飯田市東中央通にある、休日夜間急患診療所の管理運営事業 休日・祝祭日・夜間の急患(一次医療)の受け入れ医療機関として設置された。 指定管理者制度により、施設管理と運営を、飯伊地区包括医療協議会へ委託 		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 休日夜間急患診療所の管理・運営委託 委託先:飯伊地区包括医療協議会(指定管理者:H21.4.1~5年間) 2 県の小児初期救急医療体制整備事業の実施 3 レセプトオンライン請求事務の実施 4 庇設置工事	1 延べ患者数	1 6,449人
23年度実施計画	1 休日夜間急患診療所の管理・運営委託 委託先:飯伊地区包括医療協議会(指定管理者:H21.4.1~5年間) 2 県の小児初期救急医療体制整備事業の実施 3 レセプトオンライン請求事務の実施	1 延べ患者数	1 5,098人

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金				特定財源内訳、補足事項 (県)小児初期救急医療体制整備事業補助金(1/2) (そ)休日夜間急患診療所使用料
		県支出金	3,147	3,135	3,147	
		起債				
		その他	41,500	42,359	42,500	
		一般財源	3,951	3,104	4,488	
	計(A)	48,598	48,598	50,135		
		正規職員所要時間		350		
		臨時職員等所要時間		300		
		人件費計(B)		1,574		
		トータルコスト A+B		50,172		

4 事業に対する市民や議会の意見

夏の帰省時に、子どもが熱を出し困ったとき、休日夜間急患診療所が利用できてありがたかった等の声あり。20年度から、休日夜間眼科救急当番待機に関する窓口となっている。(臨時的)
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	医療が必要な人が必要な医療を受けられる。	施策の成果指標又はムトス指標	かかりつけ医を持つ市民の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのよう貢献しましたか	4年間の振り返り	休日・祝祭日・夜間に救急医療(一次医療)としての受け入れを行うことで、必要な医療が受けられ、その一翼を担っている。		必要な医療が受けられていると感じる市民の割合
	後期に向けた課題	引き続き、休日・祝祭日・夜間における救急医療(一次医療)での領域を充実させるために、必要な医療が受けられる為の体制整備及び施設整備が必要である。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	ケーブルテレビデータ放送の情報として、平成22年度から休日当番医情報へ掲載を行う。 指定管理者である飯伊地区包括医療協議会が作成した、医療ガイド(お医者さんの上手なかかり方)を全戸配布		
	後期に向けた課題	コンビニ受診化にはならないようにしながら、休日・祝祭日・夜間における救急(一次)医療の受け入れ先として、必要な医療を受けられる場所及び時間の周知を行う。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	医療スタッフの人件費等の経費は、最小限で運営している。		
	後期に向けた課題	当番医師の報酬等を据え置いて続けていけるかが課題。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	診療所の利用者は郡市民であるが、開設者が飯田市長として運営することについては、開設当初の、医師会と飯伊包括医療協議会との話し合いによる。なお、診療報酬は全て飯田市の収入となっている。		
	後期に向けた課題	開設の経過を踏まえ、引き続き、飯田市が開設する必要がある。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	① 飯伊地域包括医療協議会 - 指定管理者による診療所管理と運営 医師会、歯科医師会、薬剤師会 - 医師の当番を担当 ② 包括及び三師会との調整		
	後期に向けた課題	引き続き、現在の体制を維持しながら、休日夜間急患診療所の運営を続けていく。		
全体を通じて	4年間の振り返り	飯伊地区包括医療協議会及び三師会を中心とした体制により、休日・祝祭日・夜間における救急医療(一次医療)の領域を確保してきた。		
	後期に向けた課題	今後も現在の体制を維持していくために、必要な調整を行う。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	--